

# 令和6年度 儀礼文化学会催しものご案内

## 儀礼文化セミナー・その他

「儀礼文化セミナー」は、生涯学習講座カリキュラムの本科実修教科の各単元課目を学びます。

- 見学会や体験学習などを行います。
- 開催日時や会場の詳細は、各セミナーの参加希望者にご案内をお送りしますので、ご確認ください。
- 日時・内容などが変更になる場合があります。

開催日	単元課目	内 容		講師	会 場	定員・参加費
①6月8日(土)	【こころの文化】 仏 教	喜多院と その護摩修行 参拝	徳川家光公誕生の間と伝わる江戸城から移築された喜多院の客殿などを拝観して、仏教の修行の一つである護摩修行を見学参拝します。	第五十九世 喜多院住職 塩入 秀知	喜多院客殿・ 慈恵大師堂等 (埼玉県川越市)	30名 1,300円
②7月21日(日)	【美の文化】 煎 茶	れいせん 冷淹手前を 楽しむ	二百年以上も京都で続く小川流煎茶。その流麗なお手前を見学しながら、流派独自の「滴々のお茶」を賞味します。立礼席なのでゆったりと風雅な世界をお楽しみ下さい。	小川流煎茶 家元 小川 後楽	明治記念館 (東京都港区)	未定
③10月26日(土)	【美の文化】 華 道	暮らしの芸術 —華道	いけばなはその長い歴史の中で、それぞれの時代で発展し様々な様式が生まれ受け継がれてきました。今回、そのような様式にとらわれず多様化する現代社会と共に歩んできた草月いけばなをご覧ください。	草月会 本部講師 隅出 美泉	草月会館 (東京都港区)	25名 3,500円
④令和7年 2月22日(土)	【美の文化】 能狂言	能・狂言鑑賞	狂言「吹取」、能「生田敦盛替之型」を鑑賞します。		国立能楽堂 (東京都渋谷区)	30名 5,500円

### ■関西支部「秋季学術大会」

12月に松尾大社(京都市)で開催の予定です。関西地区の会員はもとより、ご興味ある皆さまのご参加をお待ちしております。詳細につきましては、決まり次第お伝え致します。

- ◎開催日時 12月14日(土)
- ◎会 場 松尾大社  
京都市西京区嵐山宮町3  
※阪急電鉄嵐山線「松尾大社」駅下車徒歩3分

### ■儀礼文化研究会

儀礼文化研究会は、儀礼文化に関する様々な分野の研究者が交流できる場として、また若手研究者の研鑽の場として、学術研究の発表にご活用いただいております。発表を希望される方は、事務局までお知らせください。発表者・発表題目は決まり次第、学会ホームページ上でお知らせいたします。

- ◎開催日時 未定
- ◎会 場 儀礼文化学会研修室(事務局2階)  
※オンラインにて開催する場合もございます。
- ◎参 加 費 300円(当日徴収致します。オンラインの場合は無料です) ※どなたでも参加できます。

# 令和6年度 儀礼文化学会催しものご案内

## 儀礼文化講座・定期大会

「儀礼文化講座」は、儀礼文化を体系的に学習するために、生涯学習講座カリキュラムに基づいて開講します。本講座は本科学修教科の各単元課目を学びます。

- 時 間 開催日の14:00~16:00 ※開始15分前までに受付を済ませてください。
- 会 場 儀礼文化学会 研修室  
※第3回は明治記念館、第5回・第7回は國學院大學院友会館で開催いたします。  
受講される方にはご案内をお送りします。
- 受講料 全8回:16,000円…第1回講座(5月12日)開催時に納入してください。  
1講座:2,600円…受講する講座の開催時に納入してください。  
※講座によって、教材費を別途徴収させていただく場合があります。

開催日	単元課目	講座名	内 容	講 師
①5月12日(日)	【概 論】 儀礼文化論	ブータンにみる 儀礼文化	ヒマラヤ山麓の小国ブータンは、仏教に根差した宗教文化が深く定着している。今回は特に地域色の強い東部の祭礼・習俗を見ることで、この国の儀礼文化のありかたを考えてみたい。	国立文化財機構 東京文化財研究所 無形民俗文化財研究室長 久保田 裕道
②7月14日(日)	【美の文化】 短 歌	近江・蓮華寺の うた —太平記から 茂吉の秀歌まで	「近江・蓮華寺のうた」と題し、鎌倉末期、この寺で自刃した北条仲時ら一族四百数十名の悲劇を詠んだアララギの両巨匠、茂吉と文明の秀作数十首を紹介、観賞します。	雑誌新アララギ代表 雁部 貞夫
③9月8日(日) ※明治記念館で開催	【美の文化】 競 技	伝承! 小太刀 護身道、小太刀 刀法、真剣居合 道について	小太刀と脇差の歴史的背景/刀剣類登録証/護身道は鉄扇術、十手術、小太刀刀法を採用/小太刀護身道/小太刀刀法/真剣居合道大会/スポチャンと武士道は世界に広がっています。	国際護身道連盟本部師範 横山 久道
④10月13日(日)	【美の文化】 茶 道	「唐物」の受容 と茶道	王朝時代には、茶道具とは違ったものが「唐物」と呼ばれていました。広い意味での「唐物」を受け入れてきた歴史の検討を通して、茶道の成立を考え直してみたいと思います。	大日本茶道学会会長 田中 仙堂
⑤11月10日(日) ※國學院大學院友会館で開催	【美の文化】 料 理	日本料理の 美意識	食材を切り、調理し、器に盛り付け、どのように食べるか。日本料理はその流れの中においさと美しさを表現してきました。講義では生活芸術である料理の美意識についてお話しします。	近茶流宗家・博士(醸造学) 柳原 尚之
⑥令和7年 1月12日(日)	【こころの文化】 修験道	修験道の儀礼 と文化	修験道の歴史を学び、日本古来の山岳信仰について考えていきます。修験道の担い手である山伏の法衣・装束・儀礼を、実際に触れることを通して、その意義を探ります。	智山伝法院常勤教授 山本 匠一郎
⑦令和7年 2月9日(日) ※國學院大學院友会館で開催	【こころの文化】 儒 教	江戸庶民の『論語』—日本人は『論語』に何を求めたか	近年の研究により、庶民まで拡大した江戸時代の『論語』受容の実態が明らかになってきた。当時の庶民は、何を求めて『論語』を読み解いたのか、その一端をお話したい。	國學院大學教授 石本 道明
⑧令和7年 3月9日(日)	【くらしの文化】 有職故実	烏帽子の成立と 展開、その画期	前近代社会において、烏帽子はどのような社会的役割を果たしたのでしょうか。誕生と展開、衰微を通史的に概観させていただければと思います。	立正大学教授 佐多 芳彦

### ■定期大会

- 日時 6月23日(日)13:00~ 歓宴開催
- 会場 明治記念館 ●参加費未定
- ◎本紙「儀礼文化ニュース」と同封した「儀礼文化学会催事申込書」の定期大会に○印をつけてご投函ください。
- ◎5月上旬に定期大会の詳細をご案内いたします。
- ◎ご案内に同封の振込用紙でご入金くださると、申し込みが完了となります。よろしく願いいたします。

院友会館をご利用下さい

**國學院大學院友会**

150-0011 東京都渋谷区東4-12-8  
TEL:03-3400-7781  
FAX:03-3400-7996  
URL:http://kokugakuin.or.jp